



令和6年度 中途採用(社会人)

東神楽町採用パンフレット

東神楽のことで

アタマを

いっぱいにする

シゴトです。



健康づくり



食育



デジタル化



農業

特産品

複合施設

ゼロカーボン



種と実ブランド

花のまちづくり



移住・定住

観光

空港

etc...

町の概要

東神楽町は、旭川市に隣接し、上川管内では人口が2番目に多い約1万人が暮らす町です。町を含む上川盆地一帯は、北海道の米の主産地として道内外に知られ、米や野菜を中心とした農業が盛んです。

『住みやすいまちづくり』や『子育て・教育』に力を入れ、平成25年10月に人口が1万人を超えました。子どもが多い町として知られ、人口に占める子どもの割合は15年連続道内1位となりました。また、町内には道北の空の玄関である旭川空港があり、アジアを中心に国際線が就航するなど国際化・インフラ整備も着実に進んでいます。

令和3年から役場庁舎の建て替え工事が始まっていて、各公共施設を集約した複合施設が令和6年3月に完成しました。基本設計を東神楽出身で世界的建築家の藤本壮介さんが手掛けたことでも話題となりました。

今後も『健康づくり』『食育』『住みやすさ』『子育て・教育』『ブランド』『花』『空港』などの優れた要素を伸ばす政策を展開していきます。

各課の業務

総務課

【総務係】
【職員係】
【法務情報係】

人事管理、防災、危機管理、入札・契約、町有財産の管理、法務、情報管理、情報公開、選挙、自衛隊、褒章・表彰などに関すること

まちづくり推進課

【地域政策係】
【企画財政係】

各種まちづくり計画、地域振興、地方創生、財政、広報広聴、防災行政無線・統計調査・男女共同参画、ふるさと納税、行財政改革、広域市町村圏、屋外広告物などに関すること

税務課

【課税係】
【収納対策担当】

町税の賦課、固定資産の評価、国土調査等成果品の保管等に関すること
税及び税外諸収入金の収納、徴収及び相談・収納対策などに関すること

くらしの窓口課

【戸籍窓口係】
【環境生活係】

戸籍、住民登録、印鑑登録、各種証明、旅券、埋火葬の許可、国民年金などに関すること
環境保全、公害対策、ごみ、交通安全、防犯、畜犬登録、墓地及び大雪霊園などに関すること

健康ふくし課

【社会福祉係】
【保健指導係】
【健康食育係】
【包括支援係】
【こども家庭センター準備室】

生活保護、ひとり親・高齢者・身体障がい者及び精神保健福祉、国民健康保険事業、介護保険事業、医療費助成事業、人権擁護、保護司などに関すること
健康相談、母子保健対策、栄養指導、生活習慣病の予防及び指導などに関すること
要支援者等の介護予防などに関すること
新型コロナワクチン接種などに関すること

産業振興課

【農林畜産係】
【商工観光係】
【国営農地係】

農業の振興、農地の基盤整備、農業後継者の育成、農業技術の改良・普及、鳥獣対策、林業、畜産、商工、消費者行政、観光振興などに関すること

建設水道課

【管理係】
【整備係】
【花のまちづくり推進室】

建設業、公営住宅、公園、上下水道の使用、町営バス、融雪施設補助、公共建築物の建設及び維持並びに建設車両、除排雪などに関すること
道路、橋梁、河川、土地改良事業、公園、上下水道、建築確認申請の審査、建築リサイクル、建築行政、都市計画法などに関すること
花のまちづくり、育苗に関すること

会計課

公金の受け払いなどに関すること

国保診療所

国保診療所の受付、会計、診療録の管理、診療の補助、看護などに関すること

教育推進課 (教育委員会)

【学校教育係】

教育委員会会議、学校の管理・運営、学校組織の編成、通学区域、学校給食、国際交流などに関すること

地域の元気づくり課 (教育委員会)

【社会教育係】

社会教育・体育の振興、読書の普及奨励、公民館活動の推進、各種講座・研修会の開催、郷土資料の保存、文化・体育団体の育成、社会教育施設の管理運営などに関すること

こども未来課 (教育委員会)

子育て支援事業や子育て支援センター・認定こども園ここから(心花楽)・東聖小規模保育園・子ども発達支援センターの管理運営、東聖・中央児童クラブの運営などに関すること

農業委員会 事務局

【農地調整係】

農地の売買、賃借、転用などに関すること

議会事務局

本会議、委員会の議事運営、会議録の調製、議員の身分、共済などに関すること

◆ そのほか...

東神楽町には、役場職員の親睦を目的とした『職員互助会』があり、ボランティア活動、ボウリング大会、パークゴルフ大会などが行われています。

また、野球部、釣り部、バレーボール部、サッカー部、ソフトテニス部、ゴルフ部などの部活動もあります。





東神楽町では子育てに力を入れていることを知り、また小さい街の特徴を生かして保護者同士が交流できる機会の拡充や地域と子どもたちが触れ合うといった事業の展開に取り組むことができるのではと思い町職員を目指しました。

そして、今年の3月に大学を卒業し、新卒で4月からこども未来課に所属することになりました。現在は今年から開園された認定こども園“心花楽”で保育教諭として子どもたちの成長を見守っています。園では子どもたちと町内の公園へお散歩に行ったり、育苗センターと協力をしてクラスで花を育てたり、地域とのかかわりを大切に活動がありました。

まだ、慣れていない仕事が多いため上司や先輩に助けをもらいながら、日々子どもたち一人一人に合った保育や保護者対応などの子育て支援に取り組んでいます。

これから知識と経験を増やして保育や子育て相談を通して町民同士の架け橋、住みやすい街づくりに貢献をしていきたいです。

東神楽町で一緒に働きませんか？

私は一度町外に進学し生活した経験から、改めて東神楽町の立地等の環境や様々な支援による住みやすさといった魅力を実感しました。特に東神楽町では、興味を持っていた分野である社会教育について、子どもたちの体験学習やサークル活動など支援が幅広く行われており、学ぶ機会の提供が豊富だと感じました。自身がそれらの活動に参加していた経験もあり、次は生活していた地域に貢献したいと考え町職員を目指しました。

4月から地域の元気づくり課に配属され、子ども会主体の行事、各種イベント、公園等の施設整備など、町民の皆さまの生活がより豊かなものとなるよう、支援を行っています。企画等をするだけでなく、実際に地域の方々と共に活動をする中で、新しい学びを得ながら楽しく働くことができます。まだ慣れない仕事も多く、周囲の方々に助けられながら日々勉強中ではありますが、これからも町民の皆さまの生活がより豊かなものになるよう取り組んでいきたいと思っています。

東神楽町は住みやすい町で、役場内もとても雰囲気良く、過ごしやすく働きやすいです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



— 立ち止まることなく常に魅力ある自治体へ —

50年後、100年後の未来のために 一緒にまちづくりを



東神楽町長

山本 進

「東神楽町の魅力を高め、住民の皆さんの幸福度を上げていく」—これは、未来に向かって発展し続けられるよう掲げている、進むべきまちづくりの指標といえます。

これまで、宅地造成や子育て施策を中心に、住みよいまちづくりのための総合的な政策を展開してきた結果、東神楽町は1万人を超える人々が暮らす「子どもの割合が多いまち」「もっとも住みやすいまち」へと発展してきました。これからの人口減少に歯止めをかけるためには、今後起きるべきことを想定し、あらかじめ手段を講じるなど、現在行っている政策のバージョンアップを図りながら継続して取り組むことが重要です。

高齢社会に向けて、また、将来にわたり持続可能で住民一人ひとりが幸せを感じることができると目指すため、「健康づくり」「生きがい」「デジタル化」「ゼロカーボンの推進」などのキーワードを踏まえた政策を実行していくことが必要となります。

現在、東神楽町では令和5年度に複合施設が完成するなど、将来の基盤となる事業が着実に進んでいます。50年後、100年後のあるべきまちの姿をしっかりと見据えながら、地域住民や関係機関と連携を取って進めていくことが肝要であり、ここには、皆さんの若い力が必要となり、活躍できる場がたくさんあります。

今回、東神楽町に興味を持ち、受験を志していただいた皆さんには、立ち止まることなく、常に魅力ある自治体となっていくために何ができるか、付加価値の高い住民サービスの提供のために取り組むべき政策は何かを考えることのできる人になってほしいと思います。

東神楽町は、毎日前進していく活力あるまちです。施策を達成する過程には、奮闘すべき業務も数多くありますが、その経験が人を成長させ、その人の魅力につながると考えています。東神楽町で自分を磨きたい皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。